

つかさ会 会報



2020.11月

会員のみなさん、こんにちは。

毎年11月14日を含む1週間は「全国糖尿病週間」として講演会や健康相談などを通して糖尿病に対する知識をより深めて頂く期間となっています。今年は11月9日～15日の1週間が糖尿病週間となっております。Web市民公開講座、Webセミナー(11月14日)など企画しておりますので、奮ってご参加ください。詳しくは、同封の用紙をご参照ください。(対面でのイベントは中止になっているものもありますのでご注意ください。)

今回の「さかえ」のよみどころは外来看護師の古田さんに紹介してもらいます。

つかさ会のみなさま、こんにちは。私は岐阜大学医学部附属病院の内科外来に勤務しております看護師(男性)の古田と申します。今年は新型コロナウイルスの影響で、季節感を味わえる外出もままならない日々が続いています。それでも、自然の中で季節の移ろいを感じたいものですよね。そんな今月はいよいよ岐阜城が青く染まる世界糖尿病デーです。紹介文を担当し久しぶりに「さかえ」をじっくり読ませていただきました。

今月の「さかえ」では冒頭から「P.6 1型糖尿病とともに生きる」という巻頭インタビューがあります。「1型糖尿病だと言われたときは、まさかと思った。今の医学では一生治らない病気だと聞いたときはショックを受け、どんどん不安になった。でも決して病気だから何かを諦めないといけないということはない。この言葉に大変勇気づけられました。」と料理研究家の相田さんは語られています。

そして、やっぱり気になる「P.17 冬の感染症対策」。気温が下がって空気が乾燥する冬季になるとインフルエンザやノロウイルス、ロタウイルスなどの感染症が流行します。普段の血糖値の管理と共に、咳エチケット・手の正しい洗い方・3密の回避などできることを確実にを行い、その発症や重症化を予防しましょう。

最後になりますが、糖尿病と共に歩む人生を送るうえで障害となることがいくつかあるかと思えます。療養がうまくいかないときにはひとりで抱えず、いつでも私たち医療者にご相談ください。転びそうなときには隣にいます。